

作品賞

岸本ビル



西側正面夜景（撮影:古川泰造）

建築概要

建設地：大阪市阿倍野区阿倍野筋1丁目38-1 他
 建築主：岸本ビル 株式会社
 設計：株式会社 竹中工務店大阪一級建築士事務所
 施工：株式会社 竹中工務店大阪本店
 建築面積：972.29m² 延床面積：8,051.42m²
 階数：地上9階、地下一階 高さ：39.98m
 構造種別：RC（一部S）造

選評

スリムで構造体の存在を消し去った端正な外観と鉄筋コンクリート造の事務所という相反するテーマを免震構造を用いてその組み合わせを実現した作品である。隣接するあべのハルカスの堂々とした構造体を積極的に取り入れた外観デザインと好対照をなしている。鉄筋コンクリート造の重量感ある床は事務所ビルに安心感を与え、貸室有効率82%の貸室空間は柱のスリムさもあり実質は数字以上の広さを感じさせる。耐震要素はコア廻りに集約し外壁は非常に透明感のあるデザインを目指して、小径の鉄骨柱及び鉄筋コンクリート造耐震壁と免震構造という組み合わせで鉛直力用構造部材と水平力用構造部材の分離を実現している。

日射を制御する鉄筋コンクリート造の水平庇が外観に強いインパクトを与えており、小径柱の存在を印象から消している。内部空間においては小梁のないフラットスラブ構造を採用しており設備の更新に対しても非常にフレキシブルな天井裏を実現している。規模は決して大きくないがその中には様々な工夫と技術がちりばめられており、意匠計画と構造システムが一体となり実現した端正な作品であり、日本免震構造協会賞・作品賞にふさわしいと評価できる。（丑場英温）

建築主：阿倍野センタービル株式会社 大橋千恵子
 設計者：株式会社竹中工務店 岡田光博 森下泰成 須賀定邦
 施工者：株式会社竹中工務店 林 茂史

免震化した経緯及び企画設計等

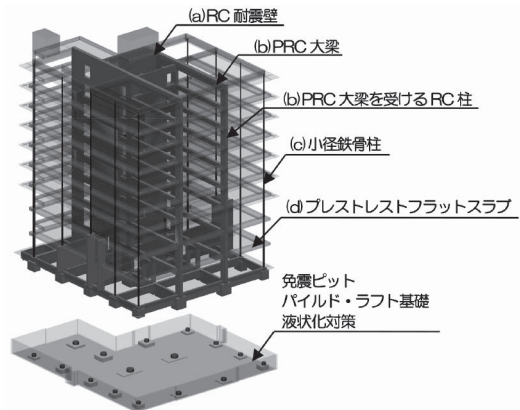
岸本ビルは、1～3階が店舗、4～9階が事務用途のマルチテナントビルである。「50年後も古びない地域に貢献する環境ビル」を設計コンセプトとし、①外観デザイン、②空間構成、③環境への配慮、④フレキシビリティ・テナント対応、⑤構造躯体の損傷防止の5つの課題に取り組んだ。免震構造を採用し、RC耐震壁付きラーメン架構にフラットスラブと外周部小径鉄骨柱を組み合わせ、躯体断面の縮小、耐震要素の集約、内部の無柱化を目指し、基準階貸室有効率82%の実現と基準階貸室7分割に対応可能とした。

技術の創意工夫、新規性及び強調すべき内容等

中央部に配した2本のスパン14mのPRC大梁と外周部の小径鉄骨丸柱（200φ～339.7φ）で各階床を支持し、自由度の高い無柱空間と透明感の高い外装を実現した。鉄骨丸柱には建方精度確保のために、球座支承（柱を球面に研磨しメタルタッチによる接合方法）を採用した。RC庇・外周部扁平梁・スパンクリート合成床版で水平ラインを強調したデザインを実現するとともに、天井内設備ダクトの自由度を増大させた。



14m×30mの無柱空間



構造計画ダイヤグラム